

株主の皆様へ

第119期  
中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



中外鉱業株式会社

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 安藤 道明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社は平成22年9月30日をもちまして第119期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の第2四半期累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国向けの需要回復や政府の経済対策の効果等により回復基調を維持したものの、デフレや円高の進行等により企業の収益環境や設備投資は依然として厳しく、先行き不透明感が強まる状況となりました。

貴金属リサイクル業界におきましては、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は上昇基調にあるものの、景気低迷による需要の減少から低調に推移いたしました。

当社の主力とする貴金属事業につきましては、商事部門および宝飾部門ともに営業強化策が実を結び順調に推移したものの、工場部門につきましては競

争激化により精製用金原料の集荷が計画通り進まず金の生産販売量が大幅に落ち込んだことから、売上高は前年同期比8億5百万円減少の148億1百万円となりました。

不動産事業につきましては、首都圏における分譲マンション等の価格下落や、住宅ローン減税の拡充等の政策支援により、顧客の不動産・住宅に対する底値感が浸透しつつあるものの、企業収益の悪化に伴い主要都市におけるオフィスビル、商業施設の空室率が上昇する等、依然厳しい状況の下で推移したことから、売上高は、前年同期比2億43百万円減少の25百万円となりました。

機械事業につきましては、アジア新興諸国の経済の拡大、在庫調整の進捗等、景気は緩やかな回復基調にありますが、国内の工作機械の受注は依然として低迷を続けております。

売上高は、中古機械の仕入に注力したことにより前年同期比5億83百万円増加の8億39百万円となりました。

投資事業の売上高は、2億24百万円増加の3億15百万円となりました。

この結果、連結売上高は、前年同期比2億40百万円減少の159億81百万円となりました。

連結営業損益は、不動産事業については営業赤字となったものの、貴金属事業、機械事業が黒字化し、投資事業の収益が増加したことから、前年同期比6億61百万円増益の70百万円の利益となりました。

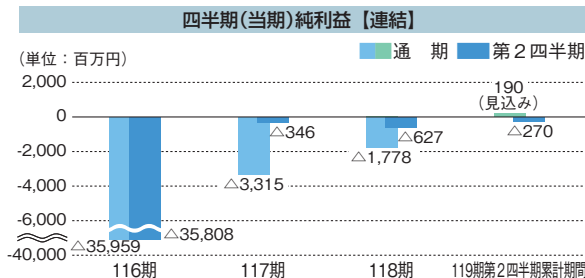
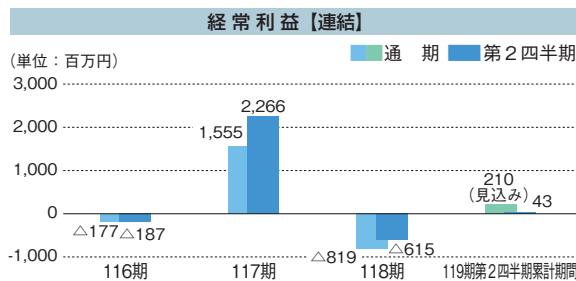
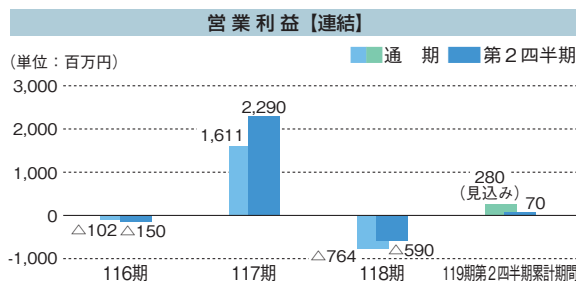
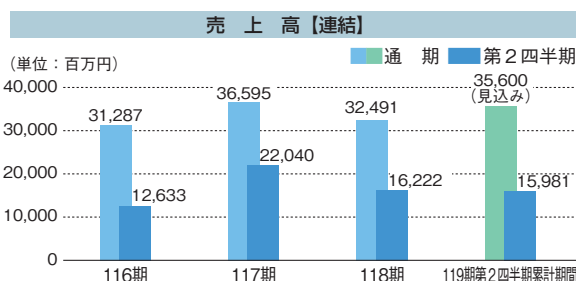
連結経常損益は、受取利息を含む営業外収益13百万円に対し、支払利息を含む営業外費用41百万円が発生したものの、前年同期に比べ6億59百万円改善し、43百万円の利益となりました。

四半期純損益は、特別利益として債務保証損失引当金戻入額等35百万円を計上し、他方、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億36百万円、貸倒引当金繰入額1億89百万円等、3億39百万円を計上したことから、2億70百万円の損失となりましたが、前年同期に比べ3億57百万円改善いたしました。

なお、中間配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



## セグメント情報

### 貴金属事業部門

貴金属事業部門は、全国に展開し、現在13支店体制となっております。

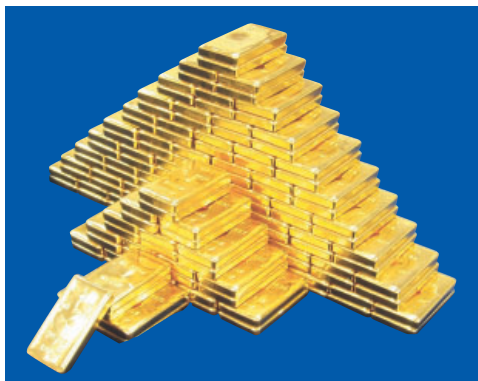
宝飾部門につきましては、平成21年4月にダイヤモンドの仕入、卸を主力業務とする「仲御徒町支店」を新設するとともに、平成22年3月にはダイヤモンドを中心とした宝石の仕入、販売を行なう「ルピナス銀座店」を、より集客力の見込める路面店に移転するなどの営業強化策が実を結び、宝飾部門および商事部門の売上は順調に推移いたしました。

他方、工場部門につきましては競争激化により精製用金原料の選別仕入を行なったことから、集荷量が大幅に減少し、金の生産量は前年同期比36.7%減少の2,543キログラムとなりました。

この結果、貴金属事業部門の売上高は前年同期比8億5百万円減少の148億1百万円となりました。

営業損益につきましては、前年同期に比べ2億27百万円改善し、54百万円の利益となりました。

また、国内金建値（期中平均）は、1グラム当たり3,486円（前年同期2,914円）となりました。



金地金（1キログラム）



東京工場の研究施設（一部）

### 不動産事業部門

不動産事業部門の売上高は、不動産物件の販売はなく、不動産賃貸収入のみであったことから前年同期に比べ2億43百万円減少の25百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高が大幅に減少したものの、前年同期には販売価格下落に伴って不動産物件の売却損の発生があったことから前年同期比1億9百万円改善の76百万円の損失となりました。

厳しい状況が続いておりますが、現在進めている中古マンションの買取・販売等の事業に注力することにより、売上高および利益の増大を図ってまいります。

## 機械事業部門

機械事業部門は、現在、5支店において営業展開を図っております。

平成20年10月以降、国内、海外ともに設備投資意欲が急速に減退し、売上高の急激な減少に直面したことから、支店の閉鎖・統合を進めるほか、同業他社に先駆け在庫機械の処分を完了し、優位な仕入ができるよう情報の収集に注力してまいりました。

これにより、売上高は前年同期比5億83百万円増加の8億39百万円となり、営業損益は前年同期比1億43百万円改善し、8百万円の利益となりました。

## 投資事業部門

投資事業部門は、有利で安定した運用を基本とし、有価証券等に投資を行っており、売上高は前年同期に比べ2億24百万円増加の3億15百万円となりました。

また、営業利益は前年同期に比べ2億14百万円増加の3億5百万円となりました。

今後、投資事業は有利で安定した運用を基本として債権の売買、有価証券の保有および売買、運用その他の投資等を行なってまいります。

事業セグメント別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間	前年同期比
貴金属事業	14,801	15,606	△ 805 (△ 5.2%)
不動産事業	25	268	△ 243 (△ 90.7%)
機械事業	839	256	583 ( 227.6%)
投資事業	315	90	224 ( 247.8%)
合計	15,981	16,222	△ 240 (△ 1.5%)

# トピックス

## 1. 貴金属事業部

### (1) 金地金、中外鉱業オリジナルミニバー等について

#### ①金地金の販売について

##### (i) 金地金1キログラムバー

当社の製造する金地金につきましては、高い技術力および信頼性が評価され、独立行政法人造幣局に12キログラムバー（純度99.99%）を納入した実績があることから、各方面から高い評価を得ております。

主力製品である金地金1キログラムバー（純度99.99%）は伝統と信頼の中外ブランドとして、高品質を保ち個人資産、お祝い用などとしてご好評をいただいております。

##### (ii) 中外鉱業オリジナルミニバー

お客様のご要望にお応えし、高い技術で製造された純金を使用した500グラム、100グラム、50グラムに加え5グラムの純金ミニバーの製造販売を開始いたしました。

ハンドメイド仕上になっておりますので、純金のつややかな輝きがより温かみのあるものに感じられ、柔らかな雰囲気が特徴的です。

ご自身の資産としてだけでなく、贈り物にもお勧めです。



純金 招福うさぎ（商品の一例）



金地金1キログラム10本入り

## ②プラチナの製造等

プラチナの生産能力は月産20キログラムであり、実収率の向上に向け、製造工程の改善を進めております。

## ③研究開発

研究部門におきましては、希少金属の調査・研究に着手しており、採算性を重視した回収技術の確立に注力しております。

## (2) JRA（日本中央競馬会）G1レース優勝カップの製作について

当社は、JRA平成22年度春のG1レース優勝カップ（純金製）の製作を受注し、納入いたしました。（一部の勝馬商品は金杯となります。）

受注したレース名は次のとおりです。

日本ダービー、オークス（G1史上初の同着）、安田記念、NHKマイルカップ、宝塚記念の5レースについて受注いたしました。

## (3) 貴金属工芸品について

貴金属工芸品の販売は景気低迷の逆風にもかかわらず、個人および法人向けとしてご贈答用に金製品、銀製品の引合いを多数いただいております。

お客様のご要望に沿うべく、各種商品を取り揃えております。

貴金属事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

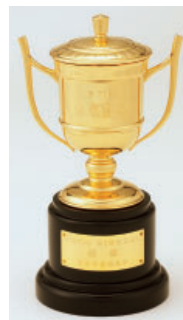
<http://www.jigane.com/>



金地金（1キログラム）



金地金詰め合せセット



日本ダービー優勝カップ



安田記念優勝カップ

#### (4) 宝飾部門について

ルピナス銀座店、仲御徒町支店におきましては、ダイヤモンドのルースの販売を中心として、各種ジュエリー商品の販売を行なっております。

ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

また、当社では形が古くなり使用していない宝飾品、また、思い出深い宝飾品を最新のデザインにジュエリーリフォームするサービスを行なっております。

どのようなご要望にも、お応えできる体制を整えておりますので、是非一度ご相談ください。

宝飾部門のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.lupinus-japan.com>

貴金属事業部は、今後とも地球に優しいリサイクル事業を柱に、新技術の確立や新製品の提案を行なっております。



ダイヤモンドネックレス（商品の一例）



各種ダイヤモンド・ネックレス（商品の一例）

## 2. 不動産事業部

不動産市況は、大幅な市場価格の下落があり、引き続き厳しい状況下ではありますが、これに対応できる体制を構築してまいります。

不動産事業部は、優良不動産の仕入販売に注力し、収益の更なる増大を図ってまいります。



### 3. 機械事業部

機械事業部は各種中古工作機械、鍛金機械等の仕入販売を行っており、業界ではトップクラスの地位を占めております。

今後とも、顧客ニーズに応えるべく営業展開を図ってまいります。

月刊誌「ニューマシンツール」について

毎月1回の発行にて、最新の中古工作機械、鍛金機械等の情報を掲載しております。

機械事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.intexkikai.com/>



ドラム型NC旋盤



立型マシニングセンタ



NCサーボベンダー



毎月発行の中古工作機械専門誌



NC複合旋盤

# ハイライト

## 1. 子会社の資金借入れについて

平成22年4月23日開催の取締役会において、当社の子会社、株式会社インテックスに関する資金借入れについて株式会社日本政策金融公庫からの借入れを承認決議し、平成22年5月24日借入れを実行いたしました。

借入金総額	250,000,000円
(内訳) 設備資金	170,000,000円 (返済期限10年)
運転資金	80,000,000円 (返済期限5年)

資金は、子会社株式会社インテックス所有の、名古屋、大阪、福岡支店等の改修工事および運転資金として使用いたします。

当社は、上記債務全額に対し連帯保証を行っております。

## 2. 会計監査人の変更について

当社は、平成22年6月29日開催の第118回定時株主総会においてご承認いただきました、会計監査人選任議案に基づき、監査法人を次のとおり変更いたしました。

新監査法人名：監査法人ハイビスカス

旧監査法人名：フロンティア監査法人

## 3. 日本鉱業協会の理事就任について

当社は、日本鉱業協会の鉱種別会員のなかから「金・銀」の理事に選出され、平成22年4月1日就任いたしました。

なお、任期は1年間となっております。

これは当社の長年にわたる金・銀のリサイクル事業が評価されたものであり、理事の一員として、今後も日本鉱業協会の発展のため尽力する所存であります。

# 財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在		平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
[流 動 資 産]	<b>6,390</b>	<b>7,525</b>	[流 動 負 債]	<b>327</b>	<b>324</b>
現金及び預金	1,325	2,928	買 掛 金	22	10
受取手形及び売掛金	1,639	1,810	短 期 借 入 金	43	47
有 価 証 券	4	4	1年内返済予定の長期借入金	118	96
商品及び製品	868	609	未 払 金	35	55
仕 掛 品	151	673	未 払 法 人 税 等	24	25
原材料及び貯蔵品	42	44	債務保証損失引当金	34	38
仕掛不動産	1,727	1,060	デリバティブ債務	14	-
預 け 金	1,654	250	そ の 他	34	51
デリバティブ債権	23	-	[固 定 負 債]	<b>779</b>	<b>523</b>
そ の 他	34	148	長 期 借 入 金	524	404
貸倒引当金	△ 1,080	△ 2	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
[固 定 資 産]	<b>2,101</b>	<b>2,129</b>	債務保証損失引当金	-	34
有 形 固 定 資 産	<b>1,455</b>	<b>1,460</b>	資 産 除 去 債 務	167	-
建物及び構築物	345	318	長 期 未 払 金	73	75
機械装置及び運搬具	226	287	預り敷金保証金	5	3
土 地	826	826	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,106</b>	<b>848</b>
建設仮勘定	34	-	<b>純 資 産 の 部</b>		
そ の 他	21	26	[株 主 資 本]	<b>7,386</b>	<b>8,807</b>
無 形 固 定 資 産	<b>373</b>	<b>372</b>	資 本 金	12,782	12,782
地上権	365	365	利 益 剰 余 金	△ 5,364	△ 3,944
そ の 他	8	7	自 己 株 式	△ 30	△ 30
投資その他の資産	<b>273</b>	<b>297</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>7,386</b>	<b>8,807</b>
投資有価証券	101	101	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>8,492</b>	<b>9,655</b>
出 資 金	9	9			
長期未収入金	459	421			
敷金及び保証金	145	162			
そ の 他	16	22			
貸倒引当金	△ 459	△ 420			
<b>資 産 合 計</b>	<b>8,492</b>	<b>9,655</b>			

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成22年4月1日～平成22年9月30日	平成21年4月1日～平成21年9月30日
売 上 高	15,981	16,222
売 上 原 価	15,248	16,161
売 上 総 利 益	733	60
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	662	651
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ )	70	△ 590
営 業 外 収 益	13	22
受 取 利 息	0	0
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
違 約 金 収 入	－	7
そ の 他	3	5
営 業 外 費 用	41	47
支 払 利 息	5	3
休 山 管 理 費	32	41
そ の 他	3	2
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ( △ )	43	△ 615
特 別 利 益	35	19
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	18	19
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	17	0
特 別 損 失	339	21
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	189	18
前 期 損 益 修 正 損	12	－
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	－	3
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	136	－
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 260	△ 617
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	9	10
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 270	－
四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 270	△ 627

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在		平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
[流 動 資 産]	<b>6,448</b>	<b>7,837</b>	[流 動 負 債]	<b>201</b>	<b>214</b>
現金及び預金	1,209	2,577	買 掛 金	3	10
受 取 手 形	1,616	1,788	1年内返済予定の長期借入金	84	96
売 掛 金	23	22	未 払 金	8	21
有 価 証 券	4	4	未 払 費 用	5	7
商 品 及 び 製 品	493	535	未 払 法 人 税 等	21	21
仕 掛 品	151	673	前 受 金	5	4
原材料及び貯蔵品	42	44	預 り 金	5	2
仕 掛 不 動 産	1,727	1,060	債務保証損失引当金	34	38
短期貸付金	1,010	865	デリバティブ債務	14	-
預 け 金	1,194	150	そ の 他	18	11
デリバティブ債権	23	-	[固 定 負 債]	<b>577</b>	<b>533</b>
そ の 他	33	120	長 期 借 入 金	319	404
貸 倒 引 当 金	△ 1,080	△ 2	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
[固 定 資 産]	<b>1,716</b>	<b>1,716</b>	債務保証損失引当金	-	34
有 形 固 定 資 産	<b>781</b>	<b>820</b>	資 産 除 去 債 務	167	-
建 物	231	210	長 期 未 払 金	52	60
構 築 物	0	0	預 り 敷 金 保 証 金	30	28
機 械 及 び 装 置	215	270	<b>負 債 合 計</b>	<b>778</b>	<b>748</b>
車 両 運 搬 具	0	0	<b>純 資 産 の 部</b>		
土 地	313	313	[株 主 資 本]	<b>7,386</b>	<b>8,805</b>
そ の 他	20	25	資 本 金	<b>12,782</b>	<b>12,782</b>
無 形 固 定 資 産	<b>370</b>	<b>369</b>	利 益 剰 余 金	△ 5,364	△ 3,945
地 上 権	365	365	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 5,364	△ 3,945
そ の 他	5	4	自 己 株 式	△ 30	△ 30
投 資 そ の 他 の 資 産	<b>564</b>	<b>526</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>7,386</b>	<b>8,805</b>
投 資 有 価 証 券	1	1	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>8,164</b>	<b>9,554</b>
関 係 会 社 株 式	100	100			
出 資 金	1	1			
長 期 未 収 入 金	459	421			
長 期 貸 付 金	355	395			
敷 金 及 び 保 証 金	142	141			
そ の 他	11	17			
貸 倒 引 当 金	△ 507	△ 552			
<b>資 産 合 計</b>	<b>8,164</b>	<b>9,554</b>			

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成22年4月1日～平成22年9月30日		前第2四半期累計期間 平成21年4月1日～平成21年9月30日	
	売 上 高	15,012		15,952
売 上 原 価	14,570		15,940	
売 上 総 利 益	441		12	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	511		491	
営 業 損 失 ( △ )	△ 69		△ 479	
営 業 外 収 益	23		24	
受 取 利 息	10		9	
国 庫 補 助 金 収 入	9		9	
そ の 他	3		5	
営 業 外 費 用	39		47	
支 払 利 息	4		2	
休 山 管 理 費	32		41	
そ の 他	3		2	
経 常 損 失 ( △ )	△ 85		△ 502	
特 別 利 益	161		19	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	18		19	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	142		0	
特 別 損 失	326		140	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	189		137	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136		—	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	—		3	
税 引 前 四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 251		△ 622	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	6		6	
四 半 期 純 損 失 ( △ )	△ 257		△ 629	

# 会社概要 (平成22年9月30日現在)

会 社 名 中外鉱業株式会社  
(英文名) Chugai Mining Co., Ltd.  
本 社 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1541(代)  
FAX 03-3201-5019  
http://www.chugaikogyo.co.jp  
創 立 昭和7年5月2日  
資 本 12,782,064,884円  
発行可能株式総数 1,158,900,000株  
発行済株式の総数 289,747,982株

## ■事業所

東 京 支 店 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1542 FAX 03-3201-1600  
御 徒 町 支 店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目25番16号 ウエハラビル  
TEL 03-3832-1261 FAX 03-3832-1263  
御 徒 町 南 口 支 店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目13番11号 二栄ビル  
TEL 03-5812-9020 FAX 03-3835-2444  
仲 御 徒 町 支 店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目15番16号 川村ビル  
TEL 03-6803-2581 FAX 03-6803-2583  
新 宿 西 口 支 店 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿七丁目2番10号 栄立新宿ビル  
TEL 03-5913-7800 FAX 03-5913-7801  
銀 座 支 店 〒104-0061  
東京都中央区銀座一丁目14番12号 楠本第17ビル  
TEL 03-6427-6600 FAX 03-6427-6622  
ルピナス銀座店 〒104-0061  
東京都中央区銀座五丁目4番15号 西五ビル  
TEL 03-6228-5353 FAX 03-6228-5363  
五 反 田 支 店 〒141-0031  
東京都品川区西五反田二丁目6番3号 東洋ビル  
TEL 03-6431-9989 FAX 03-3779-2961  
甲 府 支 店 〒400-0031  
山梨県甲府市丸の内二丁目8番3号 丸和ビル  
TEL 055-227-3500 FAX 055-227-3330  
名 古 屋 支 店 〒460-0011  
名古屋市中区大須三丁目15番16号 第一水野ビル  
TEL 052-242-0676 FAX 052-242-6778  
大 阪 支 店 〒542-0081  
大阪市中央区南船場四丁目6番10号 新東和ビル  
TEL 06-4704-5061 FAX 06-4704-5062

## ■事業所

福 岡 支 店 〒810-0001  
福岡市中央区天神五丁目7番3号 福岡天神北ビル  
TEL 092-405-8010 FAX 092-405-8623  
仙 台 支 店 〒980-0021  
宮城県仙台市青葉区中央二丁目11番30号 YSビル  
TEL 022-397-7511 FAX 022-397-7512  
東 京 工 場 〒143-0003  
東京都大田区京浜島二丁目12番16号  
TEL 03-3790-7130 FAX 03-3799-4091  
持 越 工 場 〒410-3206  
静岡県伊豆市湯ヶ島892番地41  
TEL 0558-85-0762 FAX 0558-85-1547

## ■役員

代表取締役社長 安 藤 道 明  
常務取締役 小 川 幸 重  
取 締 役 葛 山 稔  
取 締 役 阿 部 守  
常勤監査役 西 元 丈 夫  
社外監査役 山 崎 康 雄  
(弁護士)  
社外監査役 内 田 雅 敏  
(弁護士)  
社外監査役 高 橋 信 行  
(公認会計士)

## ■連結子会社

株式会社インテックス

## ■非連結子会社

株式会社キャリアメイト

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店 ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各 支店で行っております。
	<ul style="list-style-type: none"><li>・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座 の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。</li><li>・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。</li></ul>
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱場所
公告方法	電子公告により行ないます。 公告掲載URL <a href="http://www.chugaikogyo.co.jp/">http://www.chugaikogyo.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない 事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場取引所	東京、大阪各証券取引所